

日本共産党・古聖茂治議員の代表質問の発言が不穏当として、自民党の5議員から古聖議員への懲罰動議が提出され、19日の本会議で自民、公明両会派の賛成多数で可決しました。新たに設置された懲罰委員会で審議されます。古聖議員の反論と資料を紹介します。

政治とカネの問題を徹底追及する古聖議員への懲罰動議を自民党・公明党が可決 「事実であり、懲罰を科される理由はまったくない」——古聖茂治議員が反論

ハイサイ、グスーヨーチューウガナビロ。日本共産党・オール沖縄の古聖茂治です。

代表質問の私の発言には、懲罰を科される理由がまったくないことを申し上げます。

懲罰の動議の理由は、日本共産党を代表しての質問で、奥間亮議員、山川典二議員と同後援会に対して不穏当な発言をしたからというものです。そこで、その事実を確認する意味で、15日の代表質問で行った関連部分の発言原稿を紹介します。

2. 自民党の巨額の裏金づくり事件について

(1) 「しんぶん赤旗」日曜版のスクープに端を発した、政治資金パーティーの名で、自民党が企業・団体献金を長期に渡って集めながら政治資金報告書を偽造し、巨額の裏金をつくっていた事件は、前代未聞の自民党ぐるみの違法行為であり、底なしの金権腐敗政治です。高物価の中、生活を守るために必死になっている国民を尻目に、くらしや社会保障を後回しして、裏金づくりに奔走していた自民党議員に対する国民の批判と怒りは頂点に達しています。誰がこのシステムをつくり、育て、活用したのか、裏金は何に使われたのか、事件の全容解明なくして再発防止はありえません。金権腐敗政治の根を断つためには、真相解明と企業・団体による政治資金パーティー券購入含め、企業・団体献金の全面禁止が必要です。見解を伺います

(2) 知念市長の政治資金パーティーの開催状況を伺います。

次は、質問席でおこなった再質問です。

再質問 1回目、市民の批判と怒りが沸騰しています。政治と金の問題です。主要政党で企業・団体献金の禁止に反対しているのは自民党だけです。金権腐敗政治一掃へ、政治資金パーティーを含む、企業・団体献金を禁止すべきです。見解を伺います。

再質問 2回目、政治団体は、収入と支出を政治資金収支報告書に正確に記載して提出することが義務付けられています。政治資金規正法の目的を伺います。

再質問 3回目、久高前議長の政治とカネの問題で、本市議会には厳しい市民の批判があります。市議会議員には、政治資金規正法の遵守と政治資金の透明性の確保がより一層求められています。日本共産党は、県選管のHPで公表されている自民党那覇市議の2021年の政治資金収支報告書を調べました。山川典二氏には、久高前議長が代表の自民党那覇支部から150万円も支出されています。おくま亮後援会には、久高前議長が代表の自民党那覇支部から21万円、国場代議士が代表の自民党沖縄県第一選挙区支部から35万円、合計51万円が支出されています。おくま亮後援会の収支報告書には、そのうちの31万円が収入として記載がありません。この不記載、選挙管理委員会の見解を伺います。

再質問 4回目、政治資金規正法は、政治団体は、その責任を自覚し、その政治資金の収受に当たっては、いやしくも国民の疑惑を招くことのないように、この法律に基づいて公明正大に行わなければならない。と規定しています。政治資金報告書の虚偽記載や不記載などの場合、5年以下の禁錮、または100万円以下の罰金科せられます。不記載は、政治資金規正法にも、法令遵守を謳った本市議会の基本条例、政治倫理条例にも明確に反しています。市民の疑惑を招くことのないよう不記載は直ちに是正すべきです。山川典二氏の150万円の透明性も求められています。次に、昨年4月に行われた東京江東区長選挙を巡り、議員に金を配った事件で、2月1日に公職選挙法違反の買収などの罪で起訴された柿沢前法務副大臣が議員を辞職しました。首長選挙などで、議員へ金が配られていたらどのような問題が発生するか伺います。(2面に続く)

沖縄県のHPで公表されている2021年の政治資金収支報告書での寄附金の流れ

2月13日時点

寄附先	寄附した年月日	寄附金額	寄附金を支出した政治団体
山川典二	2021年 6月 14日	550,000	自民党那覇市支部・代表 久高友弘
山川典二	2021年 7月 30日	800,000	自民党那覇市支部・代表 久高友弘
山川典二	2021年 8月 2日	150,000	自民党那覇市支部・代表 久高友弘
不記載	おくま亮後援会 2021年 8月 2日	160,000	自民党那覇市支部・代表 久高友弘
記 載	おくま亮後援会 2021年 5月 15日	100,000	自民党沖縄県第一選挙区支部 代表 国場幸之助
不記載	おくま亮後援会 2021年 9月 19日	50,000	自民党沖縄県第一選挙区支部 代表 国場幸之助
記 載	おくま亮後援会 2021年 11月 30日	100,000	自民党沖縄県第一選挙区支部 代表 国場幸之助
不記載	おくま亮後援会 2021年 12月 30日	100,000	自民党沖縄県第一選挙区支部 代表 国場幸之助
不記載	改革クラブ政策研究会 2021年 8月 2日	500,000	自民党那覇市支部・代表 久高友弘
不記載	久高友弘後援会 2021年 8月 2日	1,000,000	自民党那覇市支部・代表 久高友弘

※那覇市議会は2021年8月13日の臨時会で、改選に伴う議長選を実施し、第40代議長に自民会派の久高友弘氏を再任。

日本共産党那覇市議団ニュース 15号 2024年2月23日

都市建設環境委員

団長 古聖 茂治

幹事長

厚生経済委員
湧川 朝涉

政調委員長

総務委員
我如古 一郎

ご意見、ご要望を

お気軽にお寄せ下さい

政調副委員長

教育福祉委員
前田 千尋

会計長

厚生経済委員
西中間 久枝

発行：日本共産党那覇市議団

那覇市泉崎1-1-1市役所4階

電話：862-8268

FAX867-3170

お困りごとは、お気軽にご相談ください。

Eメール: jcp-naha@nirai.ne.jp

そして、答弁を受けて、柿沢前議員のように議員に金を配る買収は絶対にあってはなりません。それが、常態化していたら大変なことです。これが、日本共産党の私の本会議での自民党の裏金づくり、政治とカネの問題、政治資金収支報告書の問題に関わる発言のすべてです。

日本共産党は、代表質問に臨むにあたり、政治資金収支報告書を調べ、市議の後援会が受けた寄付金、そして、その寄付金を支出した政治団体側にも記載があるのかを調べ、寄付金の流れを照合いたしました。

そこで、おくま亮後援会に対し、久高前議長を代表とする自民党那覇市支部と、国場代議士を代表とする自民党沖縄県第一選挙区支部の政治資金収支報告書で合わせて51万円の支出の記載があるのに、おくま亮後援会の収入には20万円の記載があるのみで、31万円が記載されていないことが判明しました。山川典二氏には、久高前議長を代表とする自民党那覇市支部から150万円の支出がありました。日本共産党の代表質問はその事実を述べたものです。

沖縄県のHPで公表されている政治資金の収支報告書は、パソコン・スマホの検索欄に「政治資金沖縄」と入力すると政治資金報告書のページが開けます。その中で、令和3年分、令和4年分の政治資金収支報告書本体のPDFファイルの第12条関係（令和3年分政党以外）、同（令和4年分政党以外）で、おくま亮後援会の収支報告書を閲覧することができます。おくま亮後援会の収支報告書は、14日に31万円分が加筆され、なぜか15日に修正（加筆を削除）されています。

日本共産党が代表質問で、自民党の政治資金パーテナーによる裏金づくり、政治とカネの問題を質問したのは、自民党派閥の組織的な裏金づくり、政治資金規正法違反の金権腐敗政治に怒りを爆発させ、強く批判している市民、国民の声に添えて、金権腐敗政治をなくしたいとの思いからです。

さらに、本市の上下水道局の用地を巡り、一方的に所有権を主張する関係者から議会・政治工作費として議長室で5000万円を授受し、久高前議長らが逮捕・起訴・送検されました。この件でも、市民は本場にロジグジーしています。この前代未聞の議長室での5000万円授受、久高前議長への収賄事件、いま、那覇市議会議員と市議会のあり方が、市民から厳しく問われています。そこで、議会としても全議員で取組を進めている最中、市民に疑惑をもたれるようなことを正して、法令を遵守し、議員自ら襟を正し、誤りを是正できる議会にしたいとの思いからです。

日本共産党は、久高前議長のかかわる贈収賄事件発覚後、代表質問、一般質問と、政治とカネの問題を真正面から厳しく取り上げてきました。

一方、今回、私への懲罰動議を提出した奥間亮議員と屋良栄作議員は、上下水道局の用地問題に関して、一方的に所有権を主張している方（昨年、久高前議長への贈賄容疑で逮捕）の側に立つて、奥間議員が2021年2月の自民党の代表質問で、屋良議員は2021年12月の一般質問で取り上げ、山川典二議員も2022年6月の自民党の代表質問で質問を行っています。さらに、2021年12月20日の各派代表者会議では、奥間亮議員が自民党会派を代表して、この問題での調査の特別委員会設置を提案しています。特別委員会設置は日本共産党などの反対で見送られました。その後、この問題を山川典二議員と屋良栄作議員は、久高友弘前議長と一緒に都市建設環境常任委員会で、当局を厳しく追及しています。2023年10月14日の沖縄タイムスでは、久高友弘前議長が沖縄タイムスの取材に応じ、「議会を追及してもらおう見返りとして市議3人に百万円単位の現金を渡した」と実名を挙げて証言した。との報道もなされています。久高前議長の収賄事件は、金をもらい、政治をゆがめるもので、議員として絶対にやってはならないとです。言語道断です。

政治資金規正法では、法の目的として、第1条で、「この法律は、議会制民主政治の下における政党その他の政治団体の機能の重要性及び公職の候補者の責務の重要性にかんがみ、政治団体及び公職の候補者により行われる政治活動が国民の不断の監視と批判の下に行われるようにするため、政治団体の届出、政治団体に係る政治資金の収支の公開並びに政治団体及び公職の候補者に係る政治資金の授受の規正、その他の措置を講ずることにより、政治活動の公明と公正を確保し、もつて民主政治の健全な発達に寄与することを目的とする。」と規定しています。

基本理念としては、第2条で、「この法律は、政治資金が民主政治の健全な発達を希求して拠出される国民の浄財であることにかんがみ、その収支の状況を明らかにすることを旨とし、これに対する判断は国民にゆだね、いやくも政治資金の拠出に関する国民の自発的意欲を抑制することのないように、適切に運用されなければならない。」

2 政治団体は、その責任を自覚し、その政治資金の収受に当たっては、いやくも国民の疑惑を招くことのないように、この法律に基づいて公明正大に行わなければならない。」と規定しています。

この政治資金規正法を、すべての政治家と政治団体は厳格に遵守する義務があります。自民党の裏金づくり、政治とカネの問題の真相解明は、市民・国民の強い願いです。私は、この政治資金規正法に照らしても、懲罰を受ける内容は全くないと考えています。引き続き政治とカネの問題を徹底追及していきます。（※弁明に加筆してわかりやすくしました。）

※毎日新聞の調査では、裏金事件を巡り問題のあった自民党の議員を国税当局が「調査すべきだ」が93%も占めています。国民の怒りが頂点に達しています。

2月のマスコミ各社の世論調査結果

岸田自公政権の内閣支持率が過去最低更新

マスコミ	支持	不支持	実施日
毎日新聞	14%	82%	17・18日
朝日新聞	21%	65%	17・18日
産経・FNN	22.4%	72.5%	17・18日
読売新聞	24%	61%	16~19日
日本経済新聞	24%	61%	16~19日

2月22日の一般質問

日本共産党・古堅茂治議員

自民党市議後援会の新たな不記載を暴露！

古堅茂治議員は、2月22日の一般質問でも、自民党の国場幸之助衆議院議員の關係政治団体・「邦梁（ほうりょう）会」が、2021年の那覇市議選に立候補した自民党の公認・推薦候補13人に各3万円を寄付していることを明らかにしました。

寄付を受けた「おくま亮後援会」の収支報告書には、寄附としての収入が記載されていません。政治規正法違反の不記載です。